

# 事業概要シート

施策 0602 高齢者の生きがいくりと介護予防の推進 <>の金額 補正予算要求時…当初・繰越予算の合計額  
 新年度予算要求時…当初・繰越・補正予算の合計額

事業名	訪問指導事業	現状維持	予算額	3,538 千円
			<<	7,027 >>千円
事業期間	平成18年度 ~	財 源 内 訳	国庫支出金	812 千円
根拠法令 要綱等	介護保険法、地域支援事業実施要綱		県支出金	406 千円
			地方債	千円
			その他	884 千円
			一般財源	1,436 千円

## 【事業の目的・概要・対象】

### 1) 目的

平成27年度からの介護保険法改正により、従来の地域支援事業の中に介護予防・日常生活支援総合事業が創設した。総合事業の訪問型・通所型サービスを整備し、高齢者の介護予防を図るとともに、介護予防に資する社会資源となる住民主体活動を育成する。

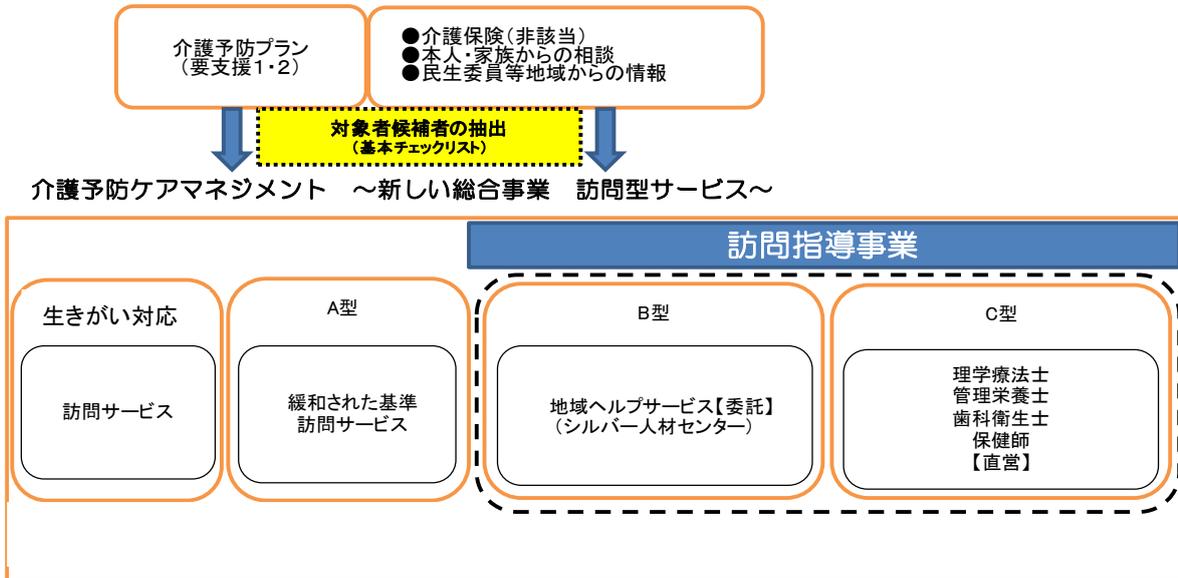
### 2) 概要

- ①要支援1・2の認定者及び総合事業対象者を対象に、歯科衛生士・保健師の専門職等が訪問し、介護予防のための保健指導や必要に応じて医療や必要な社会資源につなぐ。
- ②シルバー人材センターに介護保険の訪問介護の範囲外の生活支援を委託する。

### 3) 対象

要支援1, 又は2、総合事業対象者（チェックリスト該当者）

## 【介護予防・日常生活支援総合事業】



## 【背景】

要支援の認定者数は増加傾向にあり、介護度別の認定者数では、要支援1の認定者数の伸びが著しく、今後、団塊の世代が75歳以上となる2025年には約1.9倍に達すると見込まれている。また、介護予防に重点を置くことにより、将来の要支援認定者の伸びを抑制し、介護給付費の伸びを抑えることができる。

担当課	長寿介護課	課長	前川 靖彦
担当者	川口 南	問合せ先	0957-53 - 8141 (内線201)

# 事業概要シート

## 【活動指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	訪問実施者数	人	314	269	329	403	403
②		目標値					

## 【成果指標】

指標名		単位	H28 (実績)	H29 (実績)	H30 (目標)	H31 (目標)	H32 (目標)
①	機能改善した人の数	人	12	21	25	25	25
②		目標値					

## 【予算・決算】 (千円)

事業費は当初・繰越・補正予算の合計額

年度	H28	H29	H30	H31	H32	H33	合計
事業費	5,711	6,447	7,027	3,538	3,538	3,538	29,799
国庫支出金	1,440	1,443	1,534	812	812	812	6,853
県支出金	720	703	767	406	406	406	3,408
地方債							0
その他	1,612	2,394	2,550	884	884	884	9,208
一般財源	1,939	1,907	2,176	1,436	1,436	1,436	10,330
人件費	4,271	2,023	1,171	1,171	1,171	1,171	10,978
職員(人)	0.52人	0.27人	0.15人	0.15人	0.15人	0.15人	1.39人
時間外勤務(h)	60h	30h	40h	40h	40h	40h	250h
嘱託員(人)	0.20人						0.20人
フルコスト	9,982	8,470	8,198	4,709	4,709	4,709	40,777

妥当性 (市の関与)	平成27年度より開始した介護予防・日常生活支援総合事業は各保険者が実施するものであり、市が実施することが妥当である。
有効性 (施策貢献度)	訪問指導により、健康面の保健指導を行うことにより健康状態の改善がみられるなど、健康増進と介護予防の効果は高い。また、在宅高齢者の日常生活における自立度を高めることで、健康増進と介護予防の向上が図られる。
効率性 (コスト)	介護予防を強化することで、将来の重度化予防を防ぐことができるため、本事業を強化する必要はある。

1次評価	担当者記載のとおり
2次評価	1次評価のとおり

評価調整 委員会評価	
---------------	--